

銚子のまちを元気に！ 「ジオパーク市民の会」活躍中

銚子ジオパーク市民の会 会長 **工藤 忠男**



1. 銚子ジオパークについて

皆さんは「ジオパーク」をご存知ですか？ジオパークとは「大地の公園」を意味しますが、ダイナミックな地球の営みを感じられる地質や景観と、動物や植物など自然環境が大切に守られ、歴史・文化・産業など人々の営みが一体となり、教育や持続可能な開発に利用されている地域のことで、平成28年に日本ジオパークのひとつとして「銚子ジオパーク」が認定されました。

このジオパークは4年ごとに日頃の活動状況をチェックする審査があり、一定の水準を満たさなければ引き続きジオパークとして活動することができなくなってしまいます。この審査の中で、我々のような市民による地域活動の実績は大きなウェイトを占めています。

2. 銚子ジオパーク市民の会の誕生

銚子ジオパークが誕生する前年の平成23年2月に「銚子ジオパーク推進市民の会」は銚子を日本ジオパークのひとつにしよう！と集まった市民有志により発足しました。（平成30年5月から「銚子ジオパーク市民の会」に変更）

日本の多くのジオパークは首長が先頭に立って政策として取り組んでいますが、銚子の場合は市民活動がベースとなり、銚子市に強く働きかけてジオパークの認定にこぎつけました。このような市民活動団体が主導したジオパークは国内でも数少ない存在です。

現在、市民の会の会員は300人を超えていますが、多くの会員はサポーターとしてジオパーク活動を経済的に支援しており、実際の活動に参加している会員は30人程度です。



銚子ジオパークの「ジオサイト」の一つでもある国指定名勝及び天然記念物「屏風ヶ浦」

3. 推進協議会の一員として

ジオパーク活動を推進する組織として、平成28年11月に銚子ジオパーク推進協議会が発足しました。この協議会は銚子市役所など市内の行政機関、産業団体、民間企業、市民活動団体、金融機関、地元大学など36団体で構成され、市民の会もその一員になっています。

推進協議会は事務局を銚子市教育委員会に置き、年間を通じて市民向けの講座や夏休みの親子向け自由研究ツアー、普及促進のための各種イベントなど多彩な活動を実施していますが、その活動のほとんどに市民の会は積極的な運営協力を行っています。

4. 市民の会の活動について

(1) 連絡会議と月例勉強会

市民の会では毎週木曜日の夕方に連絡会を開き、今後の予定や喫緊の課題などの情報共有を図っています。

また、月に一度、会員と市民向けに銚子に関する見分を広め知識を高めることを目的とした勉強会を行っています。これは、外部講師や会員が講師となり実施しているもので、平成30年度は火山の専門家による「キッチン・ジオ実験」やジオパークの専門家による「ガイドのスキル

アップ」を、会員講師による「利根川水運と銚子」や「顕微鏡で見よう銚子の砂」などを実施しました。

さらに野外学習会として、加曾利貝塚と県立中央博物館見学や市原市田淵地区のチバニアン見学などバスハイクも行いました。

(2) ジオガイド

市民の会で最も重要な活動が、銚子を訪れる方にジオパークの見どころやダイナミックな大地の営みを案内する「ジオガイド」です。これまで観光地めぐりやご当地グルメが中心だった銚子の観光に、ジオパークという新たな切り口が加わることで好評を得ています。原則として事前に予約をいただいた方を対象にジオガイドを実施していますが、現在は休日にビジターセンターで予約なしの方にもジオガイドを実施しています。平成30年度は104件2,158人の方をご案内しました。ちなみにガイド料金は1人150円（3時間以内）です。このほかにも、定期的に行っている清掃活動の際にも無料のジオガイドを行っています。

ジオガイドになるためには推進協議会が行うジオパーク講座を受講し修了試験に合格後、ジオガイド講座の受講と面接をパスしなければなりません。ジオガイドに認定後は実践的なトレーニングを積み、晴れて一人前のガイドとし



月例勉強会



バスハイク会

て案内ができるという仕組みです。

(3) ジオサイト（みどころ）の環境美化活動と無料ガイド

市民の会は環境保全にも力を入れています。8月を除く毎月第3日曜日に犬吠埼、犬岩、屏風ヶ浦の順で海岸の清掃活動を行っています。これは市民の会だけでなくNPO法人ナルク銚子のほか市民有志やこの清掃活動のために遠方から来てくれる方も交えて実施しており、毎回60人前後の参加があります。銚子の海岸には海流だけでなく利根川からの漂着ゴミが目につきます。毎回多量のゴミを回収しますが決してなくなることはありません。特に最近プラスチックゴミが多く、生態系への影響が心配されます。

今年7月には、林野庁が所管する君ヶ浜国有林（約30ヘクタール）を「銚子ジオパークの森」として環境保全や学びの場などとして活用できる協定を林野庁と推進協議会が締結しました。白砂青松の景勝地で多くの文学作品の舞台になった君ヶ浜の松林は、松くい虫被害で立ち枯れを起し、タブなどの陰樹に置き換わってきています。国有林内の遊歩道の下草除去やゴミ拾いなど簡単な環境美化や植物観察会など学習イベントの際は、市民の会も推進協議会の他団体と協力して銚子ジオパークの森の保護・保

全活動を行っていきたいと考えています。

(4) 推進協議会事業の支援

市民の会が加盟する銚子ジオパーク推進協議会では様々な事業を行っていますが、事務局には専門員と呼ばれる地質の専門家と事務職員しかいないため、多くの事業でスタッフとして市民の会メンバーが必要とされ協力しています。

主な事業を紹介します。

◎親子で夏の自由研究ツアー

毎年夏休みの恒例行事として「親子で夏の自由研究ツアー」があります。小学3年生以上を対象に銚子ならではの学習素材を活かして親子で学べるプログラムで、毎年定員の4倍近くの応募があります。午前中は野外で実習、午後からは座学という構成ですが、市民の会は講師のサポート役として協力しています。

◎学習支援

学校教育の学習支援として、市内すべての小学6年生を対象に理科と総合学習のふるさと教育を兼ねて屏風ヶ浦で野外授業を行っています。講師のサポート役だけでなく時には紙芝居や小道具を使った実験を披露したり効果的な学習に一役買っています。

また、市内はもとより県内外の保育園、中学校、高校、大学の学習支援の受入時にも同



海岸清掃活動の様子



海岸清掃で集まったゴミ



市内小学生を対象にした学習支援



市内保育園児を対象にした学習支援

様に協力しています。

◎ジオパークビジターセンターでの案内業務

今年4月から銚子ジオパークビジターセンターが犬吠テラステラス内に移転しました。犬吠埼は銚子を代表する観光地で年間を通じて非常に多くの来訪者があります。そこに市民の会のジオガイドが当番制で常駐しジオパークの見どころと銚子の観光情報を提供しています。

(5) 市民の会ニュースの発行

我々の活動の中でジオパークに関する情報発信も大切なもののひとつです。市民の会ホームページやフェイスブックでの情報発信はもとより、紙媒体として市民の会ニュースを毎月1回発行しています。掲載する記事は活動の詳しい報告や感想など会員による寄稿が中心です。認定された頃はジオパークという名前を知る市民が少なかったものの、最近では多くの市民がジオパークの存在と我々の活動を認知しています。

(6) 他のジオパークとの交流

現在、日本国内には44のジオパークがあります。ジオパークはネットワーク組織のため連携と交流が重要視されます。我々も市民レベルで他のジオパークとの交流を深めています。日本ジオパークの全国大会や関東ブロック大会へ多

数の会員が参加するほか、筑波山地域や秩父など近隣のジオパークを訪問して交流を深めています。

5. これからの銚子ジオパーク市民の会について

市民の会の活動の目指す目標は、ジオパークの理念の下で様々な活動を通じて銚子のまちが元気になることですが、同時に多くの経験と知識を持つシニア世代が市民の会に集い、ジオパーク活動を通じて生き甲斐を見つけ人生を豊かで楽しいものにするということでもあります。

これからも銚子ジオパークのために貢献できることをひとつひとつ実践しながら、自らの見聞を広め、知識を深め、交流を図る活動を市民の会は行ってまいります。

銚子ジオパークガイドの申込先

銚子ジオパーク推進協議会事務局

〒288-0822 銚子市八木町1777-1

銚子市地域交流センター内

TEL 0479-21-6667 (土日祝休み)

Email choshigeopark@city.choshi.lg.jp

HomePage <http://www.choshi-geopark.jp>